

1. 16年9月期決算の概況

(1) 三井住友銀行 (図表 1-1)

[業務粗利益]

16年9月期の業務粗利益は、前年同期比326億円減益の7,627億円となりました。これは、投信や個人年金保険の販売、シンジケーション業務等の市場型間接金融といった戦略ビジネスの強化により、マーケティング部門収益は増益となったものの、15年度上期において高水準の収益を計上しておりました市場営業部門が米ドル金利の上昇等に伴い減益となったことによるものです。

[経費]

経費につきましては、人件費が人員の削減等により97億円減少したことを主因に、前年同期比49億円減少の2,911億円となりました。

[業務純益]

以上の結果、一般貸倒引当金繰入前の業務純益は4,716億円と前年同期比277億円の減益となりました。

[臨時損益その他]

臨時損益に計上される不良債権処理損失額につきましては、8,055億円となりました。なお、一般貸倒引当金はネットで戻し入れとなったことから、戻入益3,497億円を計上しており、不良債権処理損失額と一般貸倒引当金の戻入益を合計した与信関係費用は、4,558億円となりました。

また、株式等関係損益につきましては、堅調な株式相場環境の下、売却による保有株式の圧縮を実施したことにより、448億円の利益となりました。

[経常利益]

以上の結果、経常利益は1,252億円となりました。

[特別損益]

特別損益は、不動産処分損、退職給付会計基準変更時差異償却等により121億円の損失となりました。

[当期利益]

以上の結果、当期中間純利益は前年同期比 210 億円減益の 1,186 億円となりました。

(2) 三井住友フィナンシャルグループ (図表 1-2)

16 年 9 月期連結決算は、連結経常利益は 1,141 億円、連結中間純利益は前年同期比 901 億円減益の 534 億円となりました。

また、16 年 9 月末の連結自己資本比率は、10.93%となりました(図表 2)。

(3) 剰余金の推移

以上の結果、16 年 9 月期における三井住友フィナンシャルグループ及びその 100%出資子会社合算の剰余金につきましては、1 兆 8,808 億円となりました。

< 剰余金の積み上がり状況 >

(億円)

	16/3 月期 実績	16/9 月期 実績	17/3 月期 計画
期末合算剰余金(注)	17,964	18,808	17,983
その他資本剰余金	8,985	8,985	8,985

(注)三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行、三井住友カード、三井住友銀リース、日本総合研究所の剰余金合計

(4) 17 年 3 月期決算見込み

17 年 3 月期に関し、三井住友銀行におきましては業務純益(一般貸倒引当金繰入前)9,800 億円、当期純利益 2,500 億円を見込んでおります。また、三井住友フィナンシャルグループ(連結)といたしましては、連結経常利益 4,700 億円、同当期純利益 1,800 億円を見込んでおります。